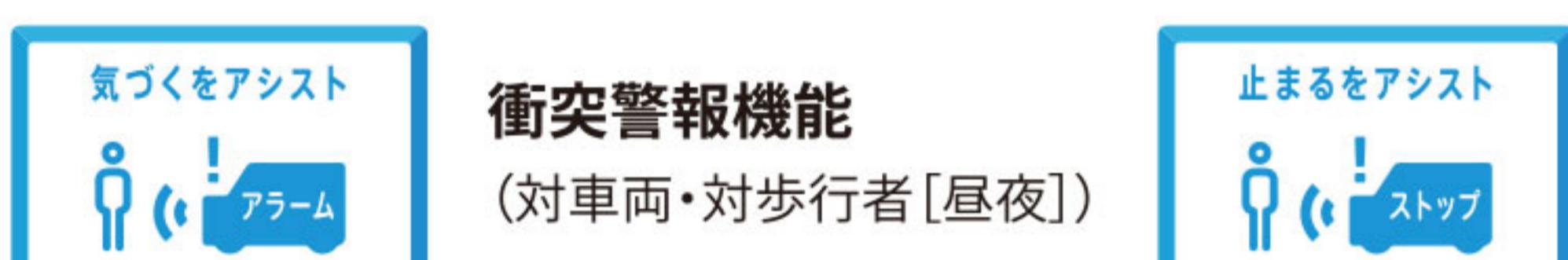


さまざまな危険を
察知して、
運転をサポート。



クルマだけではなく、夜間の歩行者との衝突回避もサポート。

**衝突警報機能**

(対車両・対歩行者[昼夜])

**衝突回避支援ブレーキ機能**

(対車両・対歩行者[昼夜])

走行中に前方の車両(二輪車、自転車含む)と歩行者(昼夜対応)を認識し、衝突の危険性があると判断した場合にドライバーへ注意喚起。さらに危険性が高まった場合には緊急ブレーキで減速。衝突の回避や、衝突時の被害軽減に寄与します。



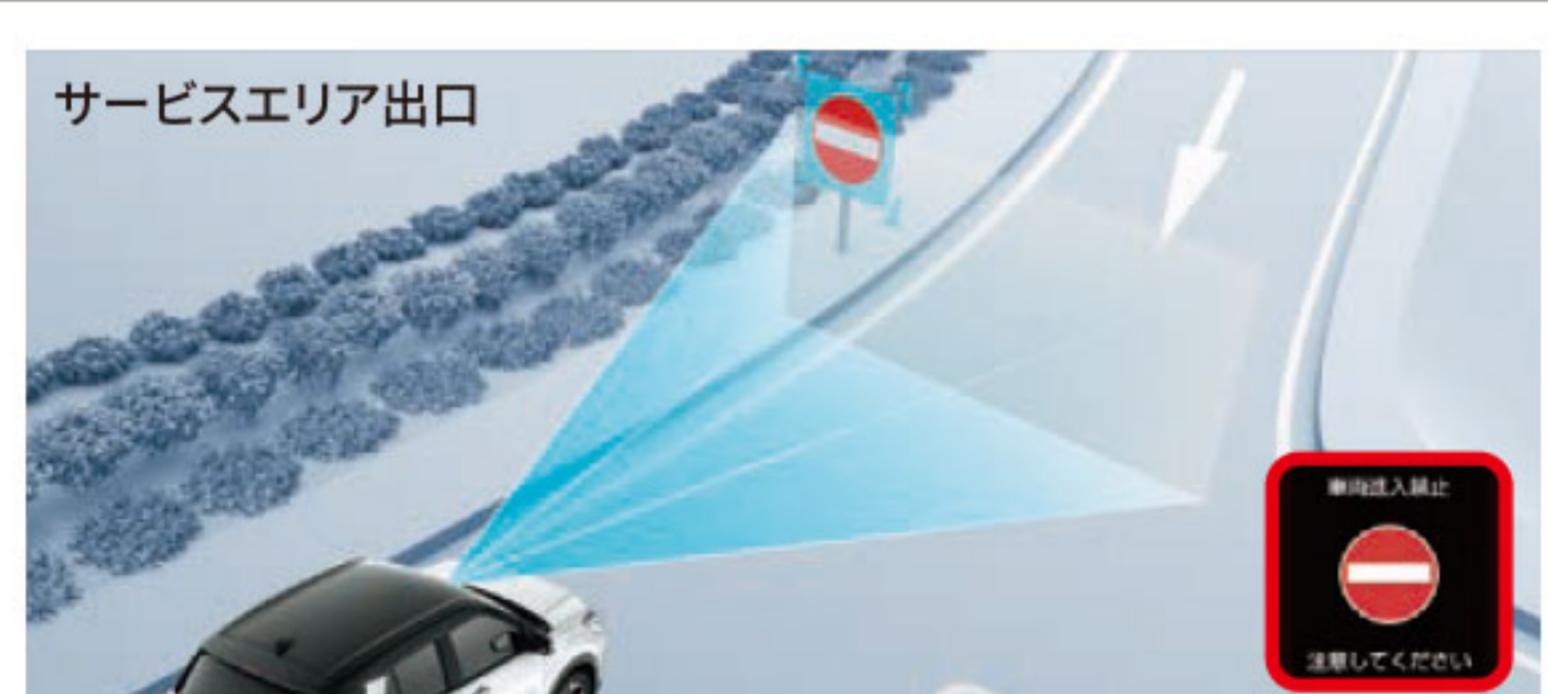
走行中に前方の車両(二輪車、自転車含む)や歩行者(昼夜対応)をステレオカメラが検知し、衝突の危険性があると判断した場合、ブザー音とディスプレイ表示で警告します。衝突の危険性がさらに高まるとシステムが判断した場合、弱いブレーキをかけます。

■状況によっては、衝突回避支援ブレーキ機能が作動せず、衝突の回避、被害の軽減ができない場合があります。■衝突回避支援ブレーキ機能作動中にアクセルペダルを踏んだ場合等には、作動を解除する場合があります。■衝突回避により車両停止後、衝突回避支援ブレーキ機能が解除されます。クリープ現象により前進しますので、停止後は必ずブレーキペダルを踏んでください。■衝突回避支援ブレーキ機能は、主に先行車、歩行者に作動します。ただし、電柱、壁などに対しても作動することができますが、これらへの衝突を回避することを目的とはしていません。■歩行者が大きな荷物を持っているなど、ステレオカメラが歩行者として正しく認識できない場合は作動しません。■車両、二輪車、自転車、歩行者の割り込み、飛び出しには対応できません。■被害軽減ブレーキアシスト機能は、速度差が約30~約120km/h(対歩行者の場合は、約30~約60km/h)で作動します。■次のような場合は、適切に作動しないことがあります。●夜間時の対二輪車・対自転車 ●前方の視界が悪い時(強い雨、吹雪、濃霧など) ●前方車両との重なりが少ない時 ●急カーブや急な坂道を走行している時など 詳しくは取扱説明書をご確認ください。

標識の見逃し予防をサポート。

**標識認識機能**

(進入禁止/最高速度/一時停止)



進入禁止、最高速度、一時停止の標識をステレオカメラが検知するとディスプレイに表示してお知らせします。道が入り組んだ住宅街や高速道路での運転時などに役立ちます。

※Lグレードの標識認識は、ディスプレイオーディオを含むメカーオプション、またはディーラーオプションの純正ナビゲーションを装着した場合のみ、ディスプレイオーディオまたは純正ナビゲーションに表示されます。その他グレードでは7インチTFTマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。標識認識対応の純正ナビゲーションについては販売会社におたずねください。■作動車速域は、進入禁止が～約60km/h、最高速度が0km/h～一時停止が～約60km/hとなります。■次のような場合は、適切に作動しないことがあります。●標識の手前で減速した時や、右左折前、右左折後、●標識が高速道路の分歧した直後、または合流直前の隣の車線にある時 ●認識対象の標識の色、形、数字に似たものが周辺にある場合(類似の標識、電光掲示板、看板、のぼり旗、構造物など) ●ロータリー(環状交差路)を走行している時 ●悪天候時(豪雨、吹雪、濃霧、砂嵐など) ●夕方、朝方の薄暗い時や、夜間に対象物に接近する時 ●屋内の駐車場など暗い場所で対象物に接近する時 ●前方から強い光(太陽光など)による逆光や対向車のヘッドライトの光などを受けた時 ●標識の全体または一部が、木・電柱などで隠れている時 ●標識が泥、雪、または霜などで覆われた時 ●標識が街灯などの光や建物の影などで見えにくくなっている時 ●電光標識が極端に明るい、または暗い時など 詳しくは取扱説明書をご確認ください。

信号待ちでの発進遅れ防止をサポート。

**先行車発進
お知らせ機能**

信号待ちなどで前のクルマが発進したことに気づかない時、ブザー音とディスプレイ表示でお知らせします。

■ブレーキペダルを踏んでいる時に作動します(シフトポジションが[P]・[R]の時は作動しません)。[N]の時、または全車速追従機能付ACC(アダプティブクルーズコントロール)機能で自車が停止した場合、ブレーキペダルを踏んでいても作動します。■前方約10m以内の先行車が約3m以上進んでも自車が止まったままだとシステムが判断した場合に作動します。

Photo:Premium G HEV。ボディカラーのブラックマイカメタリック(X07)×シャイニングホワイトパール(W25)【XH3】、スマートパノラマパーキングパック(9インチスマホ連携ディスプレイオーディオ)、BSM(ブライズドスポットモニター)はメカーオプション。■写真・図は作動イメージです。■写真・図のカメラの検知範囲はイメージです。■写真は機能説明のために各ランプを点灯したものではありません。■装備類の詳しい設定は主要装備一覧表をご覧ください。

暗い夜道でも、
視界をサポート。



夜間の歩行者の見落とし防止もサポート。

**AHB(オートハイビーム)**

標準装備 | X HEV,X,L

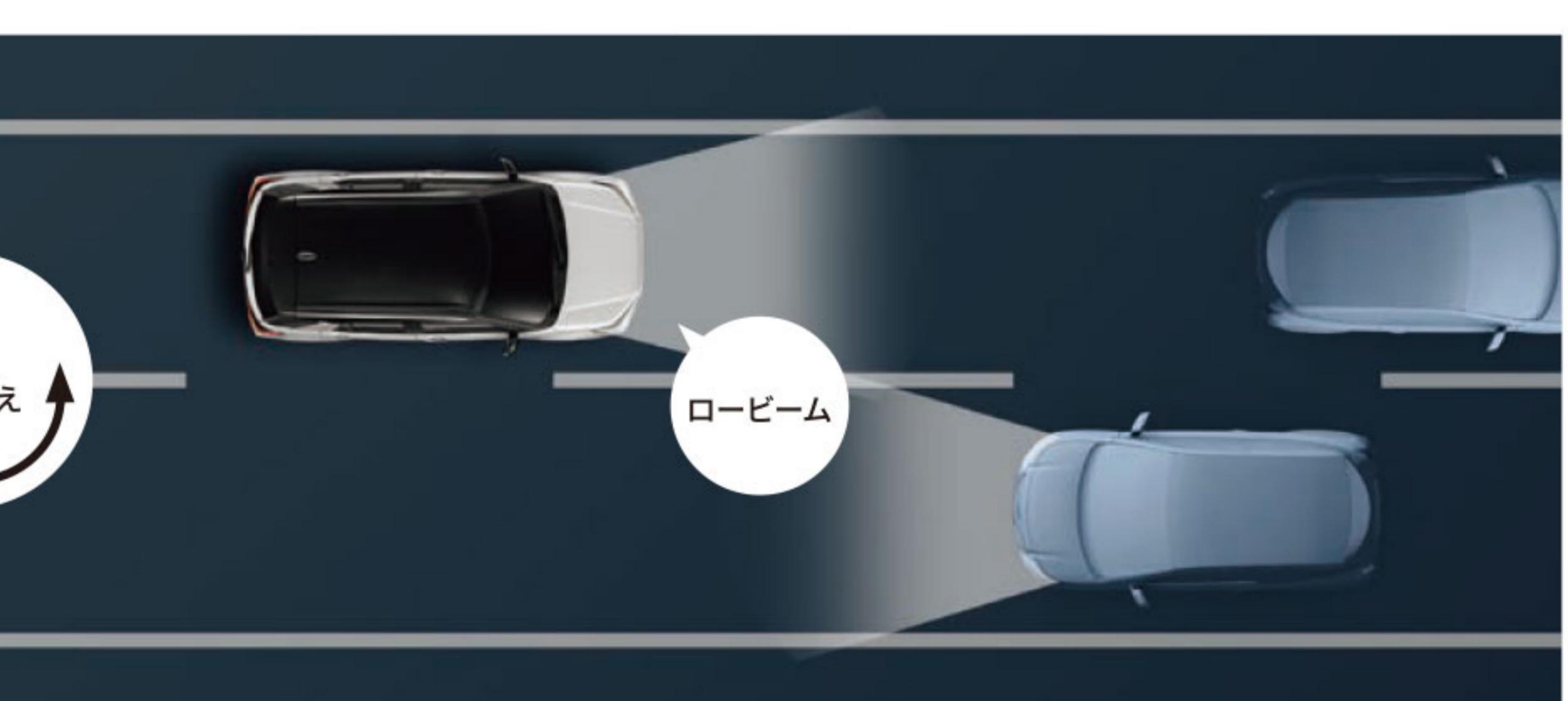
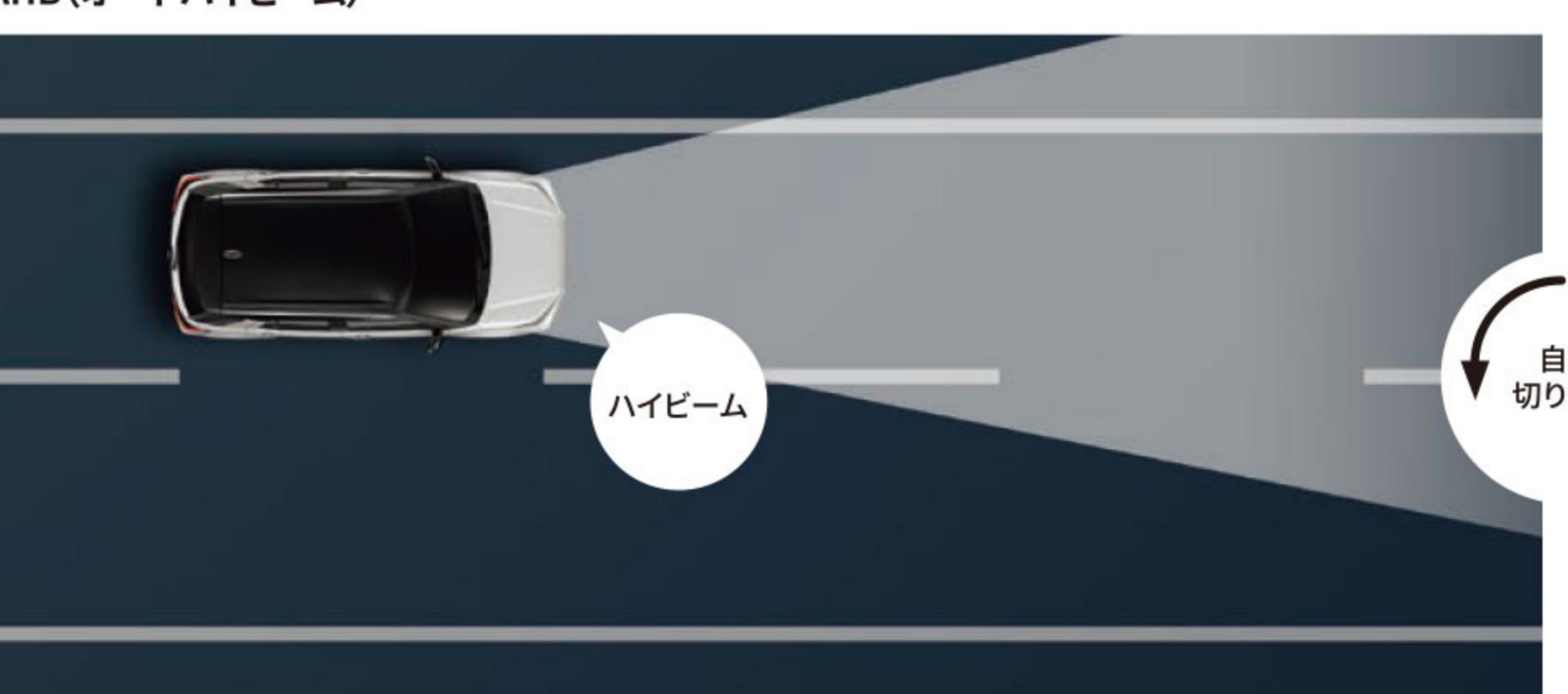
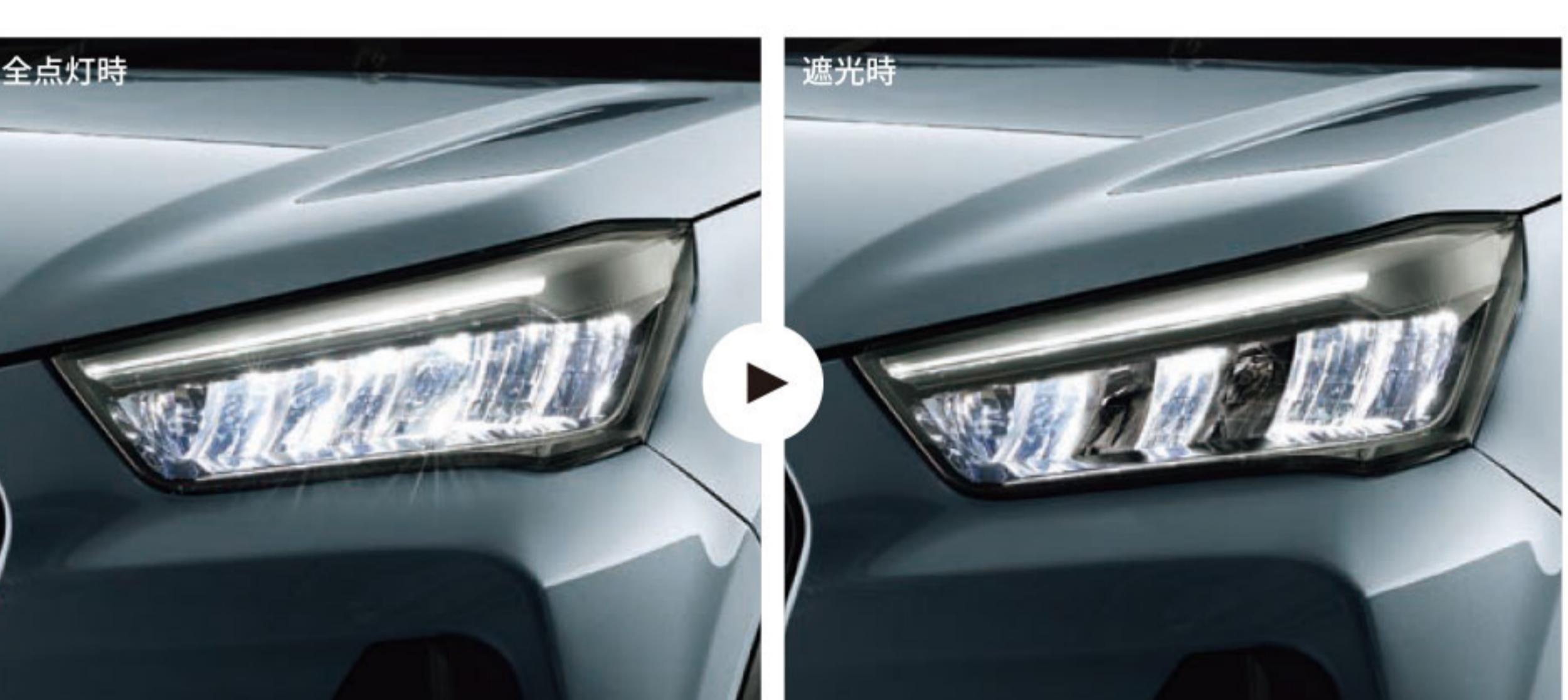
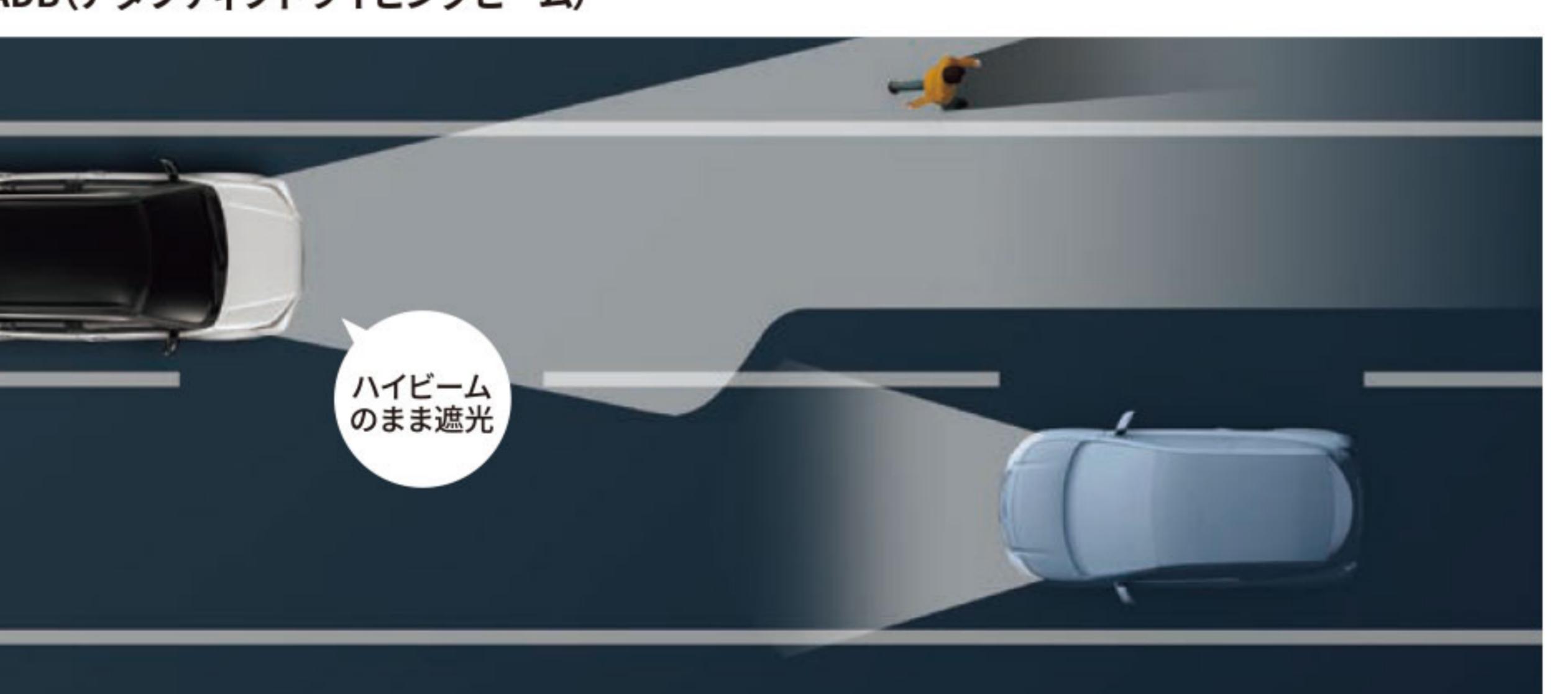
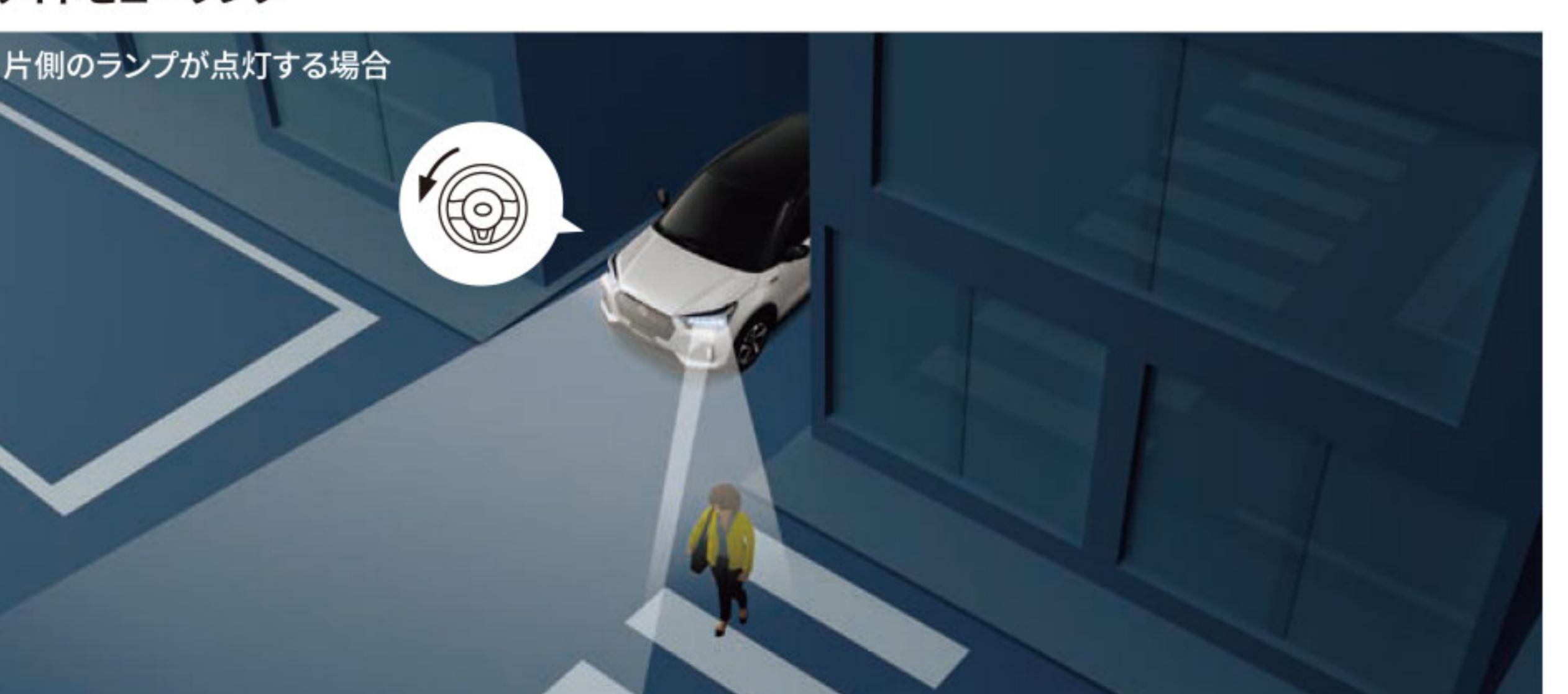
**ADB(アダプティブライティングビーム)**

標準装備 | Premium G HEV,Premium G

**サイドビューランプ**

標準装備 | Premium G HEV,Premium G

AHB(オートハイビーム)は、対向車のヘッドライトなど前方の明るさを検知し、ハイビームとロービームを自動で切り替え。先行車や対向車などがいない時はハイビームにし、遠くまで見通しを確保します。ADB(アダプティブライティングビーム)は、ハイビームで走行中に先行車や対向車を検知した時、部分的に遮光し、先行車や対向車に配慮しながら高い視認性を確保できます。サイドビューランプは、ハンドルを切った方向やターンランプを出した方向を明るく照らし、シフトを[R]レンジに入れると左右のランプが点灯します。

AHB(オートハイビーム)**ADB(アダプティブライティングビーム)****サイドビューランプ**

(AHB(オートハイビーム)) ■自車速度約30km/h以上で作動します。■ハイビーム・ロービームの切り替え自動制御には状況により限度があります。運転時には常に周囲の状況に注意し、状況に応じて手動で切り替えるなど、安全運転を心がけてください。(ADB(アダプティブライティングビーム)) ■自車速度約30km/h以上で作動します。■次のような場合は、ハイビームが自動で遮光ビームに切り替わらない場合があります。●見通しの悪いカーブで対向車と突然遭遇した時 ●他車が前方を横切った時 ●連続するカーブや中央分離帯、街路樹などで前方車両が見え隠れする時 ●前方車両が離れた車線から接近した時 ●前方車両が無灯火の時など 詳しくは取扱説明書をご確認ください。(サイドビューランプ) ■次のような場合は、点灯しません。●ADBシステムが作動していない時(Premium G HEV,Premium Gのみ) ■次の場合に点灯したサイドビューランプが消灯します。●周囲の明るさによりロービームが消灯している場合 ●シフトを[R]レンジに入れ、両側のランプが点灯後、シフトを[R]レンジ以外に入れ、約5km/h以上で前進する ●ワインカーをONにし、片側のランプが点灯後、ワインカーをOFFにする ●ハンドル操作にて片側のランプが点灯後、ハンドルをまっすぐな状態に戻す ●点灯した状態で5分以上放置するなど 詳しくは取扱説明書をご確認ください。

運転が苦手な方でも、
スムーズな
駐車をアシスト。



駐車時のハンドル操作をアシスト。



スマートパノラマパーキングアシスト(駐車支援システム)

メーカーオプション(スマートパノラマパーキングパック) | Lを除く全グレード

駐車時にカメラで駐車枠の白線を検知し、音声とモニターガイドに加えてハンドル操作をアシストします。ドライバーは周囲の安全確認に専念でき、音声と画面の案内に従いながらアクセルやブレーキによる速度調整を行うことで、簡単に駐車できます。縦列駐車にも対応しています。



操作ステップ



STEP 1

駐車したい白線があるスペースの横でブレーキペダルを踏んで停車し、スマートパノラマパーキングアシストスイッチを長押し(約2秒)。

STEP 2

駐車枠検知を開始しますので、検知した駐車枠が正しければ「はい」を押す。

STEP 3

ハンドルが動き出すので、音声に従ってシフトレバー／アクセル・ブレーキを操作して前進・後退し、駐車完了。

■カメラが映し出す範囲は限られています。必ず車両周辺の安全を直接確認してください。■写真はスマートパノラマパーキングアシスト(駐車支援システム)の作動イメージです。手放し運転を推奨するものではありません。ハンドルに手をかざし、安全運転を心がけてください。■安全のため、カメラ使用時も目視による安全確認を行なうと運転してください。■次のような場合は、作動しません。●駐車したい白線があるスペース横でブレーキを踏まずに停車した時 ●駐車枠がない時 ●車両が完全に停車していない時 ●パーキングブレーキが作動している時 ●いずれかのドアが閉まっていない時 ●ハンドルを左右どちらかに半周以上回している時 ●シフトレバーが[D]、[S]、[M]、[B]になっていない時 ■次のような場合は、適切に作動しないことがあります。●走行中にシフトレバーを切り替えた時 ●急発進・急停止・急なシフトレバーアクションをした時 ●磨耗しているタイヤを装着している時 ●未舗装路 ●雪や凍結でスリップしやすい路面 ■次のような場合は、機能を使用しないください。●駐車場に段差・勾配がある時 ●機械式駐車場や駐車場に障害物等がある時など 詳しくは取扱説明書をご確認ください。

MAKER OPTION

スマートパノラマパーキングパック(9インチスマホ連携ディスプレイオーディオ)

●9インチスマホ連携ディスプレイオーディオ ●フルセグTVアンテナ ●GPSアンテナ ●ステアリングスイッチ(オーディオ操作用/ハンズフリー通話用/駐車支援用) ●フロントカメラ ●サイドカメラ ●バックカメラ^{※2} ●Bluetooth[®]
●USBソケット×1口+HDMI端子×1口(インバネ) ●スマートパノラマパーキングアシスト(駐車支援システム)

※1:字光式ナンバープレートとの同時装着はできません。

警告音と表示で、障害物の確認をサポート。



コーナーセンサー (フロント2個/リヤ2個)

コーナーセンサーをクレマの前後に装備。障害物までの距離に応じてディスプレイ表示と警告音を変えてお知らせ。縦列駐車時や駐車場・車庫などの取り回しをサポートします。

■シフトポジション[P]以外の時は、フロント2箇所、シフトポジション[R]時は、フロント2箇所+リヤ2箇所のセンサーが作動します。



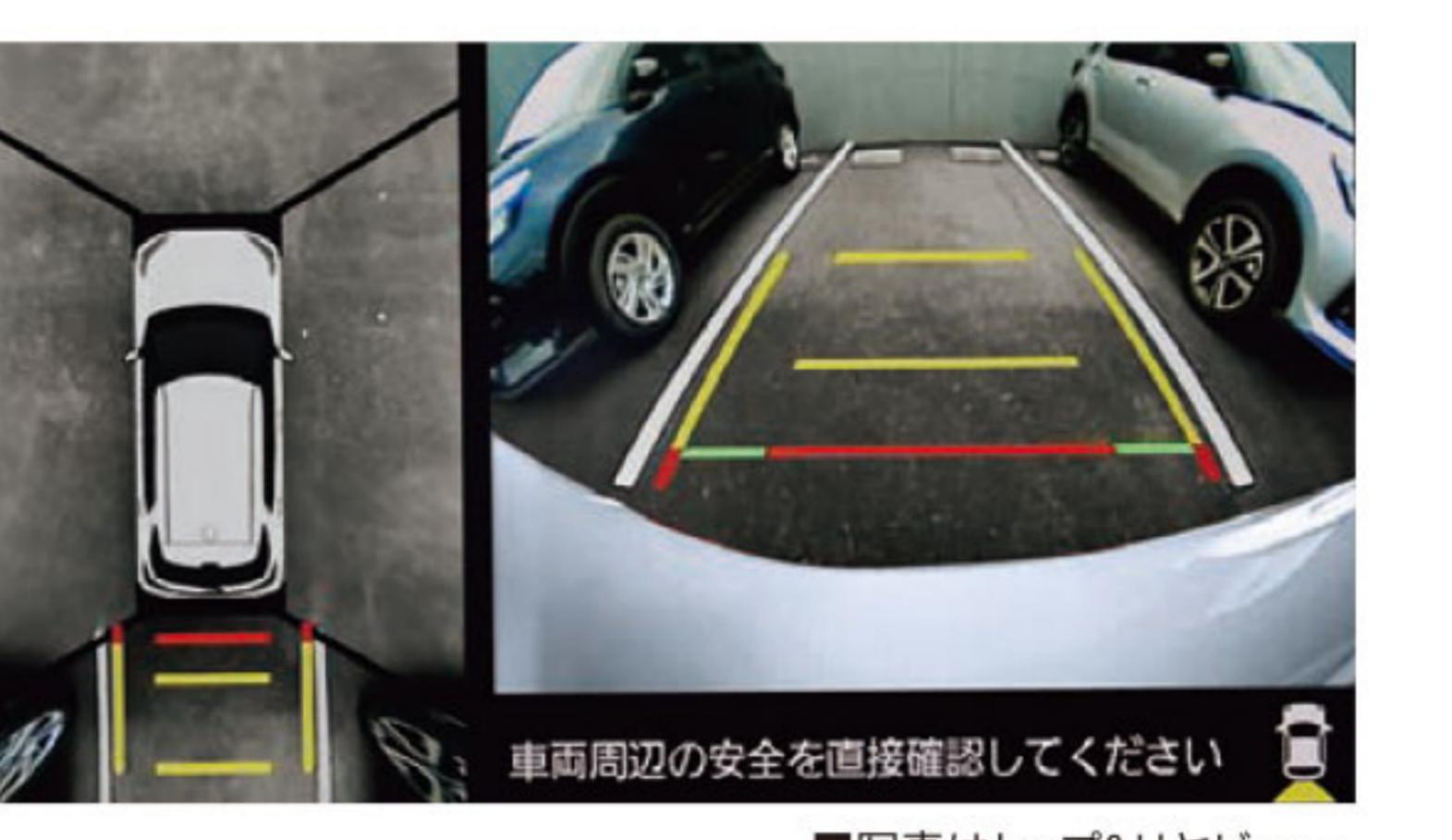
映像で、見づらい障害物の確認をサポート。



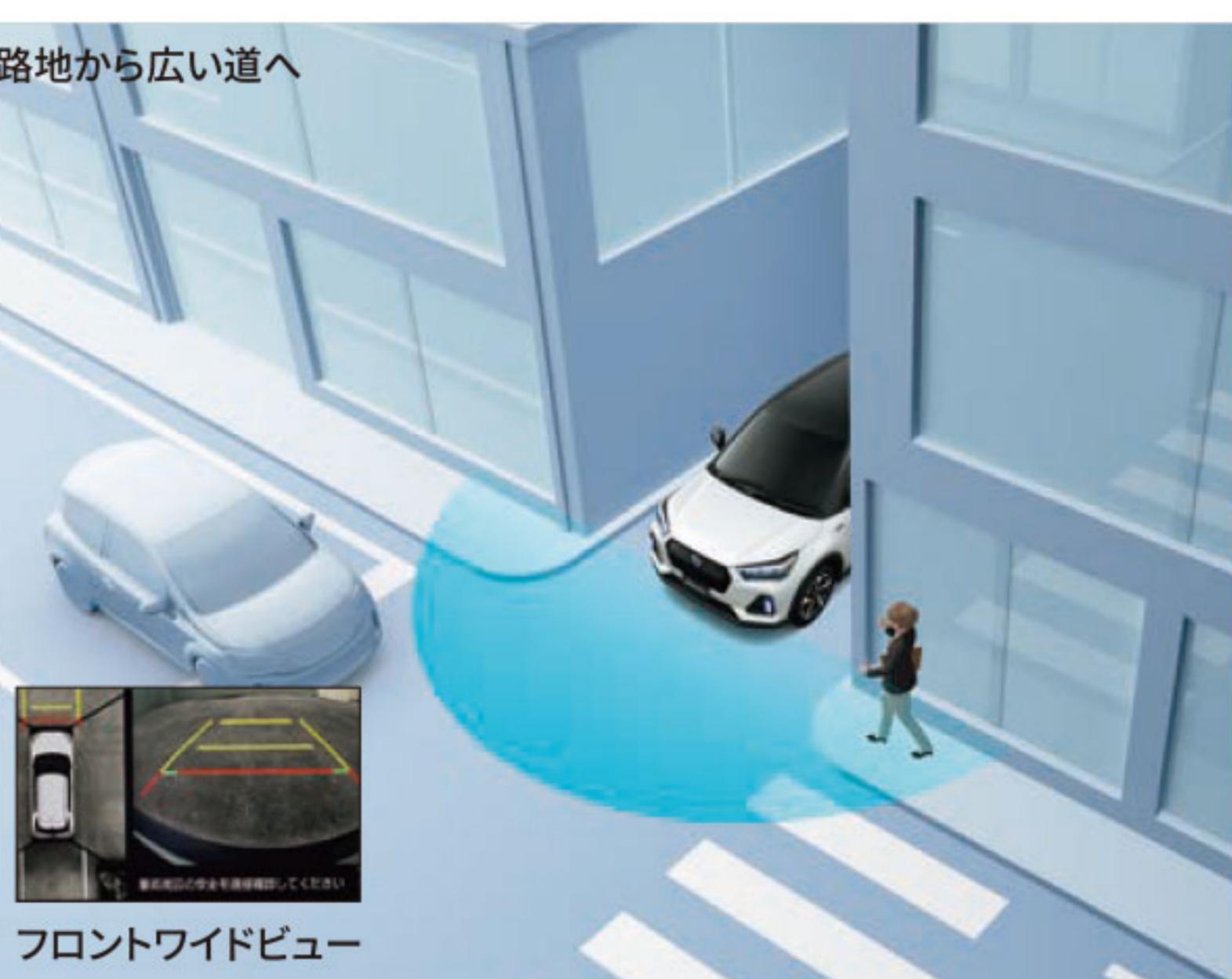
パノラマモニター

メーカーオプション(パノラマモニター対応純正ナビ装着用アップグレードパック) | Lを除く全グレード メーカーオプション(パノラマモニターパック) | Lを除く全グレード

車両の前後左右に搭載した4つのカメラにより、クルマを真正から見ているような映像を表示。運転席から確認しにくい車両周囲の状況を把握できます。



■写真是トップ&リヤビュー。



フロントワイドビュー



トップ&リヤビュー トップ&フロントビュー リヤワイドビュー

表示範囲



レフトサイド&リヤビュー



レフト&ライトサイドビュー

■カメラが映し出す範囲は限られています。必ず車両周辺の安全を直接確認してください。■トップ&リヤビュー、レフトサイド&リヤビュー、リヤワイドビューは、シフトポジションを[R]レンジにする操作が必要です。■安全のため、カメラ使用時も目視による安全確認を行いながら運転してください。

MAKER OPTION	パノラマモニター対応純正ナビ装着用アップグレードパック ●ステアリングスイッチ(オーディオ操作用/ハンズフリー通話用) ●フロントカメラ ●サイドカメラ ●バックカメラ ^{※2} ●ナビ本体は含まれません。別途、ディーラーオプションの純正ナビの装着が必要です。純正以外のナビゲーションを装着した場合、動作の保証は致しかねます。詳しくは別冊「ロックナビ&オーディオカタログ」をご覧ください。
MAKER OPTION	スマートパノラマパーキングパック(9インチスマホ連携ディスプレイオーディオ) ●9インチスマホ連携ディスプレイオーディオ ●フルセグTVアンテナ ●GPSアンテナ ●ステアリングスイッチ(オーディオ操作用/ハンズフリー通話用/駐車支援用) ●フロントカメラ ●サイドカメラ ●バックカメラ ^{※2} ●Bluetooth [®] ●USBソケット×1口+HDMI端子×1口(インバネ) ●スマートパノラマパーキングアシスト(駐車支援システム)

※2:字光式ナンバープレートとの同時装着はできません。

ペダルを踏み間違えたときに、急発進を抑制。



ブレーキ制御誤発進抑制機能(前方・後方)

約10km/h以下で障害物を認識後、踏み間違い(アクセルペダルを強く踏み込んだ場合)を判定してエンジンまたはハイブリッドシステムの出力を抑制し、ブザー音とディスプレイ表示で警告。さらに、障害物に衝突する危険性があるとシステムが判断するとブレーキ制御が作動します。

■次の場合は作動しません。(後方のみ) ●ワイヤーがHiの時(前方・後方)
●ドライバーが回避動作(ハンドル操作など)を行った時 ●カインカーONの時 ■次のような場合は、適切に作動しないことがあります。(ステレオカメラの場合) ●前方の視界が悪い時(強い雨、吹雪、濃霧など) ●フロントウインドowiに曇りや汚れがある時 ●障害物がガラスの場合 ●障害物がフェンスやレッグなど均一な模様を持つものの場合 ●障害物がまったく模様のない壁やシャッターの場合(ナーセンサーの場合) ●バンパーの非常に近くに障害物がある時 ●周囲で大きな音が鳴っていたり、超音波を発するものがある時(前方・後方) ●障害物と車両が直角で立っている時 ●障害物の高さが低い時(縁石など) ●自車の中心と障害物が外れている時など 詳しくは取扱説明書をご確認ください。



前方約4m以内に障害物等があることをステレオカメラまたは約2~約3m以内に障害物等があることをソナーセンサーが検知している時に、シフトポジションを[D]、[S]、[M]、[B]にしたままブレーキペダルと間違えるなどして必要以上にアクセルペダルを踏み込んだ場合、急発進を抑制します。



後方約2~約3m先までに壁などの障害物等があることをソナーセンサーが検知している時に、シフトポジションを[R]にしたままブレーキペダルと間違えるなどして必要以上にアクセルペダルを踏み込んだ場合、急発進を抑制します。

ロングドライブの運転負荷を軽減。



高速走行時や渋滞時などの加減速をサポート。

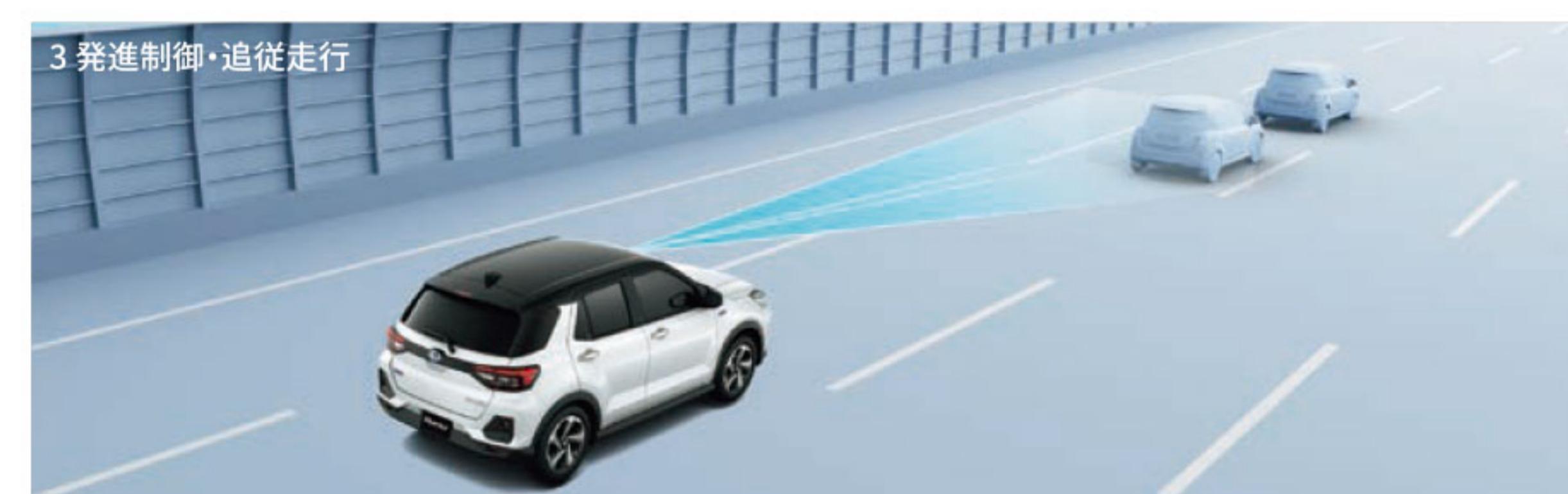
車間キープをアシスト 全車速追従機能付ACC (アダプティブクルーズコントロール)

標準装備 | Premium G HEV, Premium G

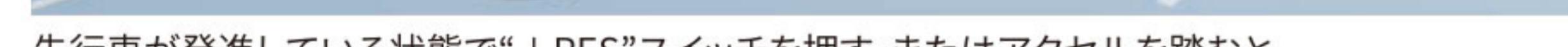
走行中に先行車の様子を検知しながら、設定した速度の範囲内で先行車との距離のキープを支援します。先行車に合わせて停止したときはブレーキをかけ続けるなど、わずらわしいアクセルとブレーキの操作を支援してくれるので疲れにくく、長距離運転中の渋滞なども快適に運転できます。



先行車がない場合は、ドライバーが設定した速度で定速走行します。



先行車を認識した場合は、先行車の速度に合わせて減速し、先行車が停止すると、先行車に統一して停止します。



先行車が発進している状態で“+RES”スイッチを押す、またはアクセルを踏むと、追従走行に戻ります。

設定速度より遅い先行車がいなくなると、設定速度まで加速し、定速走行へ移行します。

●ACC=Adaptive Cruise Control ■次のような場合は、適切に作動しないことがあります。●ステレオカメラに汚れがある時 ●ステレオカメラが高温な時 ●ブレーキパッドが高温な時 ●急なカーブや急な上り坂、下り坂を走行している時 ●悪天候(豪雨・吹雪・濃霧など)により先行車が見えにくい時 ●フロントウインドウ外側が汚れ、泥、湿った雪に覆われている時 ●フロントウインドウ内側が曇っている時 ●夜間に街灯のない道路を走行している時など 詳しくは取扱説明書をご確認ください。

車線の中央を安定して走行するようにサポート。

LKC (レーンキープコントロール)

標準装備 | Premium G HEV, Premium G

約60km/h以上で走行中、全車速追従機能付ACC(アダプティブクルーズコントロール)作動時に、クルマが車線の中央付近を安定して走行するよう、ハンドル操作をアシストします。



●LKC=Lane Keep Control ■次のような場合は、適切に作動しないことがあります。●悪天候(豪雨・吹雪・濃霧など)により白(黄)線が見えにくい時 ●前方から強い光(太陽光などによる逆光や対向車両のヘッドライトの光など)を受けている時や、強い光が道路に反射している時 ●夜間に街灯のない道路を走行している時 ●急なカーブのある道路を走行する時 ●フロントウインドウ外側が汚れ、泥、湿った雪に覆われている時 ●フロントウインドウ内側が曇っている時 ●先行車との車間距離が短い時 ●自車が白(黄)線に対してまっすぐに走行していない時 ●料金所や検札所の手前や交差点など、白(黄)線がない場所を走行する時 ●白(黄)線が不明瞭または直線的でない時など 詳しくは取扱説明書をご確認ください。

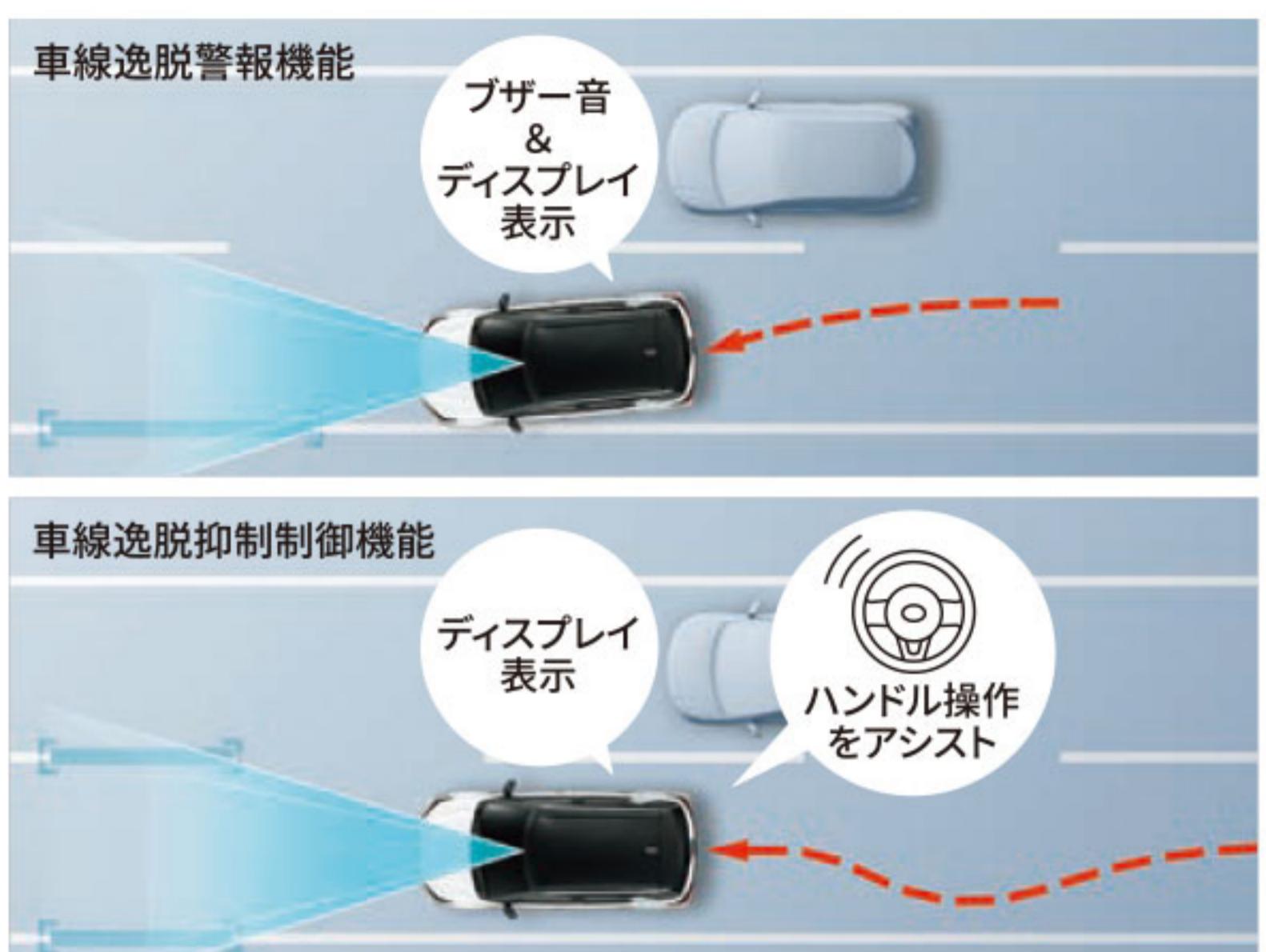
車線からはみ出さないようにサポート。

車線逸脱警報機能

車線逸脱抑制制御機能

約60km/h以上で走行中にステレオカメラが車線を検知している場合、道路上の車線から逸脱しそうになると、ドライバーへブザー音でお知らせ。クルマが車線をはみ出しそうになると、ディスプレイ表示でお知らせするとともに、車線内に戻すようハンドル操作をアシストします。

■ターンシグナル(方向指示灯)を使用している時は作動しません。■次のような場合は、適切に作動しないことがあります。●悪天候(豪雨・吹雪・濃霧など)により白(黄)線が見えにくい時 ●前方から強い光(太陽光などによる逆光や対向車両のヘッドライトの光など)を受けている時や、強い光が道路に反射している時 ●道路の修復や古い白(黄)線のため、アスファルトの継ぎ目や線状の補修痕、白(黄)線のかずれや重複、タイヤ痕などがある時 ●交差点や横断歩道など車線の数が増減している区間や車線が複雑に交差している区間を走行する時 ●車線の幅が極端に狭い時や広い時、または変化している時 ●分岐・合流路などを走行する時 ●急なカーブのある道路を走行する時 ●フロントウインドウ内側が曇っている時など 詳しくは取扱説明書をご確認ください。



路側へはみ出さないようにサポート。

路側逸脱警報機能

ふらつき警報

約60km/h以上で走行中、クルマが路側へはみ出しそうになると、ブザー音とディスプレイ表示でお知らせします。

■次のような場合は、適切に作動しないことがあります。●前方から強い光(太陽光などによる逆光や対向車両のヘッドライトの光など)を受けている時や、強い光が道路に反射している時 ●道路の修復や古い白(黄)線のため、アスファルトの継ぎ目や線状の補修痕、白(黄)線のかずれや重複、タイヤ痕などがある時 ●交差点や横断歩道など車線の数が増減している区間や車線が複雑に交差している区間を走行する時 ●道路の幅が狭い時や広い時、または変化している時 ●分岐・合流路などを走行する時 ●急なカーブのある道路を走行する時 ●フロントウインドウ内側が曇っている時など 詳しくは取扱説明書をご確認ください。



ロングドライブの疲れをお知らせ。

気つくをアシスト

ふらつき警報

長時間走行中、クルマのふらつきを検知すると、ドライバーへブザー音とディスプレイ表示でお知らせします。

■次のような場合は、適切に作動しないことがあります。●約60km/h以上で走行していない時 ●白(黄)線と道路表面の区別ができない時や、かすれたり汚れたりして見えにくい時 ●悪天候(豪雨・吹雪・濃霧・砂嵐など)により白(黄)線が見えにくい時 ●路面に雪が残っていたり湿っている時 ●前方から強い光(太陽光などによる逆光や対向車両のヘッドライトの光など)を受けている時や、強い光が道路に反射している時 ●トンネルの出入り口や、木、建物の影などで明るさが変化した時 ●夜間で街灯のついていない道路を走行している時 ●先行車との車間距離が短い時 ●車線の幅が狭い時や広い時、または変化している時 ●急なカーブのある道路を走行する時 ●フロントウインドウガラス外側が汚れ、泥、湿った雪に覆われている時など 詳しくは取扱説明書をご確認ください。



死角になる左右後方の接触防止をサポート。

車線変更時の安全をアシスト

BSM (ブラインドスポットモニター)

メーカーオプション(BSM (ブラインドスポットモニター)) | Lを除く全グレード

隣接する車線の死角領域を走る、または死角領域に急接近してくる車両を検知し、ドアミラーインジケーターが点灯します。さらに、検知車両側に方向指示スイッチの操作をすると、ドアミラーインジケーターの点滅・ブザー音により注意喚起を行い、車線変更時における安全確認を補助します。

●BSM=Blind Spot Monitor ■検知対象の目安となる大きさは、小型の二輪車よりも大きな車両となります。一部の特殊な道路状況等では、静止車に対してもインジケーターが点灯する場合があります。■天候状態、道路状況、および車両状態によっては、ご使用になれない場合があります。■ブラインドスポットモニターは、車線変更時の後方確認をアシストするシステムです。実際の車線変更時にはドライバー自ら周囲の安全状況を直接確認する必要があります。



MAKER OPTION
●BSM (ブラインドスポットモニター)
●RCTA (リヤクロストラフィックアラート)

後方を横切るクルマとの接触防止をサポート。

後退時の安全をアシスト

RCTA (リヤクロストラフィックアラート)

メーカーオプション(BSM (ブラインドスポットモニター)) | Lを除く全グレード

後方を横切る車両を検知し、ドアミラーインジケーターの点滅・ブザー音により注意喚起を行い、後退時の安全確認を補助します。

●RCTA=Rear Cross Traffic Alert ■天候状態、道路状況、および車両状態によっては、ご使用になれない場合があります。■リヤクロストラフィックアラートはあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバー自ら周囲の安全状況を直接確認する必要があります。■リヤクロストラフィックアラートのレーダーは、真後ろの車両を検知できないため、必ずバックモニターと合わせてご使用ください。



MAKER OPTION
●BSM (ブラインドスポットモニター)
●RCTA (リヤクロストラフィックアラート)